

全国739進学校の進路指導教諭が選ぶ 「イチ押し」の大学はここだ!

表A コロナ対応が上手だったと思われる大学



ranking	name	place	point
4	東北大 ^国	宮城	56
5	横浜国立大 ^国	神奈川	40
6	東京大 ^国	東京	28
7	駒澤大	東京	26
8	近畿大	大阪	25
9	慶應義塾大	東京	19
10	明治大	東京	18
11	上智大	東京	16
	帝京大	東京	16
13	関西大	大阪	15
14	広島大 ^国	広島	14
14	東洋大	東京	14
16	宇都宮大 ^国	栃木	13
	明治学院大	東京	13
18	日本大	東京	12
19	中央大	東京	11
20	大阪大 ^国	大阪	10
	名桜大 ^国	沖縄	10
	国際基督教大	東京	10
	多摩美術大	東京	10
	同志社大	京都	10
	就実大	岡山	10

10月になって、2年目になる共通テストの出願が締め切られました。いよいよ来年入試の始まりです。この時期は受験勉強に力を入れるのももちろんですが、志望校選びも重要な時期になります。総合型選抜は始まっており、大学選びに大いに迷う時期です。そんな時に頼りになるのがエキスパートの意見。進路指導教諭オスシメの大学はどこでしょうか。

コロナ禍の中で行われた今年の入試は、今までにない結果となりました。鳴り物入りでスタートした大学入試改革は、国語と数学の記述式の出題、外部英語試験の活用など、ことごとく中止になりました。改革の目玉が中止になった共通テストの志願者は、センター試験時代を含めても過去最大の減少で、53万5245人にとまりました。特に浪人生が2割近く減少しました。浪人生は2020年、大学入試改革前年、最後の旧入試に現役として挑みました。しかし、浪人しても翌21年は入試が変わるためメリットが少なくと判断し、現役で進学する受験生が多く、21年の浪人生激減につながったようです。ただ、共通テストの平均点は上がり、初めての共通テストは難化するという予測は外れました。

来年入試はどうなっていくのでしょうか。大学通信は注目を集める来年入試について、全国の進学校2000校にアンケートを行い、739校から回答を得ました。その中で入試について聞いています。国公立大入試はどうなるかでは、「今年とあまり変わらない」がトップで51・6%、国公立大・前期の人氣が「少しアップ」が28・4%、「さらにアップ」が10・6%などでした。アップするという回答の合計が48・3%で5割を超えています。来年入試でも国公立大人氣は高いようです。

一方、今年、戦後最大の14%の志願者減となったのが私立大です。来年について「今年と変わらない」が44・5%、「今年より少し(5%未満)増える」29%など、「今年以上に」の回答は8割近くになりました。

表B 面倒見が良い大学



ranking	name	place	point
4	福岡工業大	福岡	76
5	産業能率大	東京	55
6	明治大	東京	49
7	東京理科大	東京	48
8	広島大 ^国	広島	37
9	国際教養大 ^国	秋田	35
10	国際基督教大	東京	32
11	神奈川工科大	神奈川	31
	名古屋商科大	愛知	31
13	九州工業大 ^国	福岡	29
	昭和女子大	東京	29
15	立教大	東京	26
16	福井大 ^国	福井	23
	大阪大 ^国	大阪	23
18	中央大	東京	21
	近畿大	大阪	21
20	秋田県立大 ^国	秋田	20

今年、減少の反動で増加するとの見方も多いようです。共通テストはセンター試験と傾向が替わり対策が必要になっているため、私立大志願者は私立大専願に舵を切ることも考えられ、志願者が増える可能性もあります。

進路指導教諭オスシメの大学は「ここ」

また、アンケートでは、各項目別に、進路指導教諭にオスシメの大学を挙げてもらいました。5校連記で記入してもらい、最初の大学を5ポイント、次を4ポイント・・・として計算し集計しました。

まずは表Aの「コロナ対応が上手だったと思われる大学」です。昨年は突然のコロナ禍の感染拡大、学校の3カ月近い休校などで、急速、対面をオンライン授業に切り替える大学が多くなりました。トップは千葉工業大です。コロナ不況の到来を見越し、今年の入試で共通テスト利用入試の受験料を無料にしました。高校の進路指導教諭からも評価が高くなりました。日下部聡入試広報部長がこう話します。

「昨年の6月から対面授業を再開し、検温、消毒は教職員総動員で実施しました。学生全員にiPadを持たせていたので、オンライン授業は問題なく実施できましたが、地方からの学生などが部屋から出られず、食への不安もあったので、学生には無

料で食券を配り、学生食堂を朝から晩まで開き、学生の食の安定化を行いました。食堂の消毒は全席念入りに行い、それは今も続けています」

千葉工業大のように、入試での対応の評価は高くなっています。もともと早くからコロナ対策を実施した立教大は、今年から全学部で試験日自由選択制の入試を実施しました。5位の横浜国立大、16位の宇都宮大は、いずれも大学独自の二次試験を廃止し、共通テストのみで判定する入試を実施しました。

次は表Bの「面倒見が良い大学」です。トップは17年連続で金沢工業大。進路指導教諭からも「高校の学びの状況に応じて、学び直しの指導を行っている点(岩手・県立高)」、「入学時に比べて卒業時の能力を高めて社会に送り出しているから」(新潟・県立高)、「まじめな学生をしっかりとサポートして、成長させている(奈良・私立高)」などで、2000年から他大学に先駆けて、数理工教育研究センターを設置し、高校の数学・理科の復習から大学の専門領域で活用できる数理学習まで、個別学習指導が受けられる体制を整えています。企画部広報課長の山川亮太郎さんがこう話します。

「学生をいかに伸ばすかがメインですから、PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)であるプロジェクトデザイン授業で、テーマにそってグループを組んで学習、議論を重ねて

無印:私立大学 国:国立大学 国:公立大学

表G 小規模だが評価できる大学

1	国際教養大	秋田	251
2	武蔵大	東京	138
3	国際基督教大	東京	119
4	産業能率大	東京	116
5	会津大	福島	69
6	津田塾大	東京	48
7	九州工業大	福岡	42
	都留文科大	山梨	42
9	神田外語大	千葉	40
	金沢工業大	石川	40
11	神戸女学院大	兵庫	32
12	一橋大	東京	29
	公立ほこだて未来大	北海道	29
14	恵泉女学園大	東京	25
15	福岡工業大	福岡	24
16	電気通信大	東京	22
	福岡女子大	福岡	22
	成蹊大	東京	22
	立命館アジア太平洋大	大分	22
20	上智大	東京	20
	東京女子大	東京	20

表F 改革力が高い大学

1	早稲田大	東京	235
2	近畿大	大阪	193
3	東北大	宮城	132
4	立教大	東京	117
5	立命館大	京都	79
6	東洋大	東京	73
7	青山学院大	東京	72
8	東京大	東京	66
9	明治大	東京	59
10	千葉工業大	千葉	49
11	金沢大	石川	44
12	九州大	福岡	41
	追手門学院大	大阪	41
14	千葉大	千葉	40
15	広島大	広島	38
	上智大	東京	38
17	慶應義塾大	東京	37
18	筑波大	茨城	34
	佐賀大	佐賀	34
20	関西学院大	兵庫	31

表E 研究力が高い大学

1	東京大	東京	702
2	京大	京都	632
3	東北大	宮城	477
4	大阪大	大阪	206
5	東京工業大	東京	202
6	名古屋大	愛知	135
7	筑波大	茨城	100
8	九州大	福岡	87
9	東京理科大	東京	82
10	早稲田大	東京	59
11	北海道大	北海道	58
12	慶應義塾大	東京	54
13	近畿大	大阪	36
14	電気通信大	東京	23
15	東京農工大	東京	21
	広島大	広島	21
17	千葉大	千葉	20
18	千葉工業大	千葉	17
	東京農業大	東京	17
20	一橋大	東京	15

表D 教育力が高い大学

1	東京大	東京	348
2	東北大	宮城	287
3	京大	京都	242
4	国際教養大	秋田	122
5	大阪大	大阪	107
6	東京理科大	東京	85
7	九州大	福岡	77
	早稲田大	東京	77
9	名古屋大	愛知	72
10	慶應義塾大	東京	70
	国際基督教大	東京	70
12	筑波大	茨城	69
13	東京工業大	東京	59
14	金沢工業大	石川	58
15	北海道大	北海道	44
16	広島大	広島	42
17	武蔵大	東京	37
18	立教大	東京	28
19	立命館アジア太平洋大	大分	27
20	神田外語大	千葉	26

表C 就職に力を入れている大学

関東・甲信越			
ranking	name	point	
1	明治大	東京	204
2	産業能率大	東京	59
	法政大	東京	59
4	早稲田大	東京	35
5	中央大	東京	27
北陸・東海			
ranking	name	point	
1	福井大	福井	30
2	金沢工業大	石川	28
3	中京大	愛知	16
4	明治大	東京	14
5	金沢星稜大	石川	11
近畿			
ranking	name	point	
1	立命館大	京都	30
2	金沢工業大	石川	28
3	近畿大	大阪	24
4	関西学院大	兵庫	16
5	大阪大	大阪	12
	同志社大	京都	12
中国・四国			
ranking	name	point	
1	明治大	東京	14
2	九州工業大	福岡	13
3	広島工業大	広島	9
	広島修道大	広島	9
5	金沢工業大	石川	8
九州・沖縄			
ranking	name	point	
1	福岡工業大	福岡	65
2	九州工業大	福岡	59
3	崇城大	熊本	10
4	広島大	広島	8
5	東京工業大	東京	5
	明治大	東京	5
	立命館大	京都	5
	近畿大	大阪	5
	長崎純心大	長崎	5
	尚綱大	熊本	5

1	明治大	東京	243
2	金沢工業大	石川	105
3	九州工業大	福岡	81
4	法政大	東京	68
5	福岡工業大	福岡	65
6	産業能率大	東京	59
7	立命館大	京都	53
8	近畿大	大阪	41
9	福井大	福井	40
	中央大	東京	40
11	早稲田大	東京	37
12	国際教養大	秋田	27
	立教大	東京	27
14	青山学院大	東京	25
15	日本大	東京	24
16	東京理科大	東京	21
	関西学院大	兵庫	21
18	共立女子大	東京	20
	上智大	東京	20
20	中京大	愛知	19

北海道・東北			
ranking	name	point	
1	金沢工業大	石川	13
2	会津大	福島	12
3	中央大	東京	10
4	国際教養大	秋田	8
	立教大	東京	8

無印:私立大学 ●:国立大学 ◎:公立大学

無印:私立大学 ●:国立大学 ◎:公立大学

理由を入試企画部の林巧樹部長がこう話します。

「近年は入試の難化もあって、入学者のレベルが以前に比べて上がり、大学の教育ですとやってくることで、学生は物怖じせず意見を出せるようになってきたことにあると思います。就職率が高いことに加えて、最近では有名企業にも入社する学生が増えています」

表Dの「教育力が高い大学」のトップは15年連続で東大です。2位は東北大、3位は京大で、旧7帝大がトップ3を独占しました。4位は公立大トップの国際教養大、5位は大阪大、6位は私立大トップの東京理科大でした。地域別では、北海道・東北は東北大、関東・甲信越は東大、北陸・東海は名古屋大、近畿は大阪大、中国・四国は京大、九州は九州大となりました。地元大学の評価が高いのが特徴です。

7年連続トップの研究力が高い大学は東大

表Eは「研究力が高い大学」です。トップは7年連続で東大です。2位は京大で、この2校のポイントが突出しています。3位が東北大で、「教育力が高い大学」のトップと同じ顔ぶれになりました。進路指導教諭の考えには、大学にとって研究と教

発表して行きます。4年間必修です。いろいろな人とチームを組むことで力がつきます。理工教育研究センターでも気軽に聞けることで、学生はわからないところをすぐに理解できることも大きいです」

2位は武蔵大、3位は東北大、4位は福岡工業大、5位は産業能率大でした。2位の武蔵大は「ゼミの武蔵」といわれるほど、ゼミナール形

育が、車でいえば両輪との考えが強く、研究に優れている大学は教育力の評価も高くなります。以下、大阪大、東京工業大、名古屋大、筑波大と続き、私立大トップは9位の東京理科大でした。

表Fは「改革力が高い大学」です。早稲田大がトップに立ち、それまで5年連続1位だった近畿大を抜きました。早稲田大は政治経済学部をはじめ積極的な入試改革が高い評価を得たからと見られます。入試改革を実施した大学では、昨年の10位から4位の立教大、14位から7位の青山学院大、27位から10位の千葉工業大、26位から15位の上智大などの躍進が目を見せます。早稲田大、青山学院大、上智大など、国公立大と同じように、共通テストと大学独自試験の選抜に変えたところの評価が高くなりました。

2位の近畿大は今年で8年連続志願者日本一を達成。来年、情報学部を新設します。まだまだ改革の手を緩めてはいません。同じように昨年より順位を上げた17位の慶應義塾大は、東京歯科大との統合により歯学部設置が動き出したことが評価されたといわれます。

表Gは「小規模だが評価できる大学」です。トップは国際教養大、次いで武蔵大、国際基督教大、産業能率大、会津大、津田塾大の順になりました。上位4校はいずれも文系の小規模大学です。学生と教員の距離が

の国公立大13年連続トップの福井大が9位に入っています。各地域からの評価を見ると、北海道・東北は金沢工業大がトップ、関東・甲信越と中国・四国は明治大、北陸・東海は福井大、近畿は立命館大、九州・沖縄は九州工業大を抜いて福岡工業大が高評価でした。関東・甲信越で2位の産業能率大は、ポイントすべてがこの地区のものです。評価の

式は少人数教育で、今という双方向で授業を進めるアクティブ・ラーニングの授業です。武蔵大は昔から実践しており4年間必修です。来年、国際教養学部の新設を予定しています。

次に表Cの「就職に力を入れている大学」を見てみましょう。トップは12年連続で明治大。学生の就活サポートに力を入れていることで知られ、有名企業に強いのが特徴です。今年の就職先企業を見ると、明治安田生命保険、楽天グループ各38人、SCK32人、NEC31人、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友銀行各27人、TIS26人、富士通25人など。次いで金沢工業大、九州工業大、法政大、前年14位から上がった福岡工業大、産業能率大の順でした。

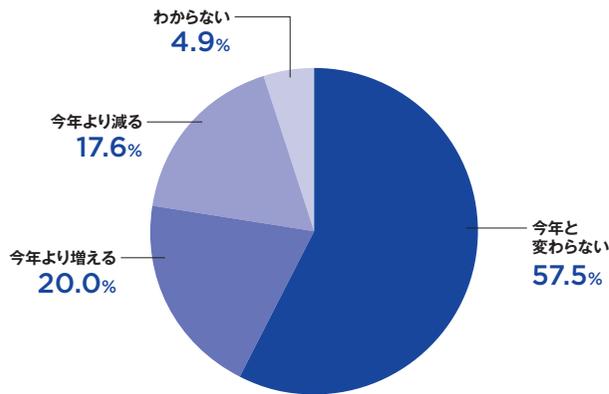
ランキングには実就職率（就職者数÷卒業生数）大学院進学者数（×100）が高い大学も多くなっています。卒業生数1000人以上でトップの金沢工業大が2位、3位の国公立大13年連続トップの福井大が9位に入っています。各地域からの評価を見ると、北海道・東北は金沢工業大がトップ、関東・甲信越と中国・四国は明治大、北陸・東海は福井大、近畿は立命館大、九州・沖縄は九州工業大を抜いて福岡工業大が高評価でした。関東・甲信越で2位の産業能率大は、ポイントすべてがこの地区のものです。評価の

式は少人数教育で、今という双方向で授業を進めるアクティブ・ラーニングの授業です。武蔵大は昔から実践しており4年間必修です。来年、国際教養学部の新設を予定しています。

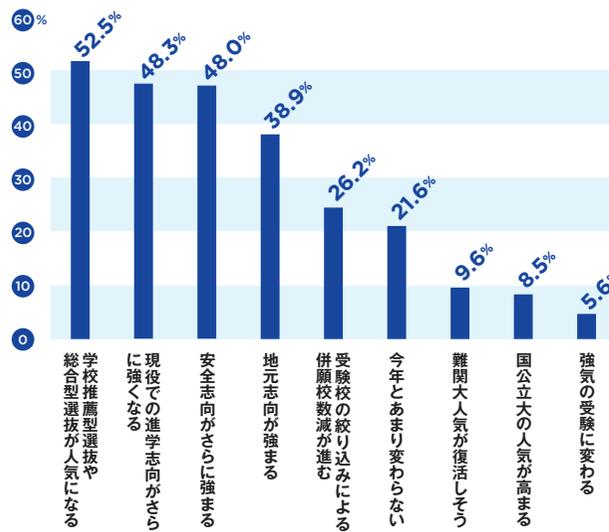
次に表Cの「就職に力を入れている大学」を見てみましょう。トップは12年連続で明治大。学生の就活サポートに力を入れていることで知られ、有名企業に強いのが特徴です。今年の就職先企業を見ると、明治安田生命保険、楽天グループ各38人、SCK32人、NEC31人、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友銀行各27人、TIS26人、富士通25人など。次いで金沢工業大、九州工業大、法政大、前年14位から上がった福岡工業大、産業能率大の順でした。

ランキングには実就職率（就職者数÷卒業生数）大学院進学者数（×100）が高い大学も多くなっています。卒業生数1000人以上でトップの金沢工業大が2位、3位の国公立大13年連続トップの福井大が9位に入っています。各地域からの評価を見ると、北海道・東北は金沢工業大がトップ、関東・甲信越と中国・四国は明治大、北陸・東海は福井大、近畿は立命館大、九州・沖縄は九州工業大を抜いて福岡工業大が高評価でした。関東・甲信越で2位の産業能率大は、ポイントすべてがこの地区のものです。評価の

グラフ1 私立大で必須にした大学が増えましたが、共通テストの志願者はどうなると思いますか？



グラフ2 コロナの影響で、「現役志向」「安全志向」「地元志向」が顕著でした。来年の大学選びは、どうなるとお考えでしょうか？(複数回答可)



さらに、**グラフ2**では、入試の傾向について聞いています。「学校推薦型選抜や総合型選抜が人気になる」が52.5%でした。年内入試の人数が高くなりそうです。次いで「現役での進学志向がさらに強くなる」48.3%、「安全志向がさらに強まる」48%、「地元志向が強まる」が38.9%でした。私立大に限った入試方式では、トップは「指定校推薦」40%、次が「総合型選抜」「共通テスト利用入試」「公募制推薦」の順でした。年内入試の人数が高いのが特徴です。昨年もコロナの感染拡大で、年明けの一般選抜が実施できるの不安があったり、年内入試が人気です。来年入試も同じになりそうです。**グラフ3**の「生徒に人気のある大学」では、「自分のしたい勉強ができ

表J-2 生徒に勤めたい私立大学

1	早稲田大	東京	697
2	慶應義塾大	東京	546
3	国際基督教大	東京	229
4	東京理科大	東京	199
5	明治大	東京	175
6	上智大	東京	167
7	同志社大	京都	138
8	立教大	東京	103
9	立命館アジア太平洋大	大分	80
10	金沢工業大	石川	71
11	立命館大	京都	65
12	関西学院大	兵庫	56
13	青山学院大	東京	51
14	中央大	東京	48
15	関西大	大阪	42
16	近畿大	大阪	40
17	法政大	東京	36
18	南山大	愛知	23
19	学習院大	東京	19
	明治学院大	東京	19

大、近畿では京大がトップでした。**表J-2の私立大編**では、トップが早稲田大、2位が慶應義塾大でこの2校が3位以下に大差をつけました。以下、国際基督教大、東京理科大、明治大、上智大の順です。やはり難易度が高い大学が上位にいます。地域別では、関東・甲信越は早稲田大、近畿では地元の同志社大がトップでした。

共通テスト2年目は志願者が増えそう

次に**グラフ1**を見ていきましょう。

表J-1 生徒に勤めたい国公立大学

1	東京大	東京	905
2	京大	京都	650
3	東北大	宮城	551
4	北海道大	北海道	240
5	大阪大	大阪	233
6	東京工業大	東京	200
7	国際教養大	秋田	178
8	九州大	福岡	150
9	名古屋大	愛知	147
10	一橋大	東京	125
11	筑波大	茨城	110
12	神戸大	兵庫	74
13	千葉大	千葉	70
14	金沢大	石川	51
15	信州大	長野	42
16	岡山大	岡山	41
17	九州工業大	福岡	39
18	広島大	広島	37
19	東京農工大	東京	31
	横浜国立大	神奈川	31

表Hは「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」です。トップは東北大、2位は東京理科大、3位は金沢工業大、4位は東大、5位は大阪大の順となりました。東北大は「教育力が

表I 生徒に人気がある大学

1	明治大	東京	407
2	早稲田大	東京	386
3	立教大	東京	261
4	青山学院大	東京	207
5	慶應義塾大	東京	183
6	東北大	宮城	144
7	上智大	東京	125
8	東洋大	東京	120
9	大阪大	大阪	119
10	神戸大	兵庫	118
	法政大	東京	118
12	京大	京都	115
13	東京大	東京	109
	日本大	東京	109
15	近畿大	大阪	101
16	関西大	大阪	97
17	同志社大	京都	92
18	中央大	東京	90
19	名古屋大	愛知	84
20	千葉大	千葉	78

「コロナ禍で受験生の安全志向が強まって、女子大の人気が上がったことがあるのかもしれない。キリスト教を建学の精神にする小規模な大学ですが、小規模ということもあって、教職員と学生の距離が近いことや、ここ数年、高大連携をきめ細かく続け、教育内容を広く伝えてきたことで、コロナ禍で大学情報が不足する中、評価されたと思います。早くから始めた国際教育が評価されていることもあるでしょう」

表H 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

1	東北大	宮城	173
2	東京理科大	東京	131
3	金沢工業大	石川	123
4	東京大	東京	92
5	大阪大	大阪	67
6	国際教養大	秋田	66
7	京大	京都	64
8	産業能率大	東京	57
9	神田外語大	千葉	41
10	国際基督教大	東京	35
11	武蔵大	東京	34
12	筑波大	茨城	33
13	九州大	福岡	26
14	近畿大	大阪	23
15	慶應義塾大	東京	22
	明治大	東京	22
	立教大	東京	22
	早稲田大	東京	22
	同志社大	京都	22
20	立命館アジア太平洋大	大分	21

無印:私立大学 ●:国立大学 ◎:公立大学

近く、特色ある教育で高い評価を得ています。

さらに、今年の特徴は女子大の躍進です。昨年の10位から6位にアップした津田塾大、37位から11位の神戸女学院大、265位から14位の恵泉女学園大など、表中の女子大はすべて順位を上げています。コロナ禍での不況到来が懸念される中、就職に強い女子大に注目が集まっています。昨年からは順位をジャンプアップさせた恵泉女学院大は、東京の多摩市にある人文と人間社会の2学部の大です。園芸教育に力を入れていることで知られ、学生は毎年野菜や花を育てています。アドミッシンセンター長の漆畑智靖教授がこう話します。

高い大学」2位、「面倒見が良い大学」「研究力が高い大学」「改革力が高い大学」がいずれも3位と、評価が高く人気もあります。予備校関係者は「関東の国立の難関総合大学となると、東大の次は東北大になることもあって、首都圏でも人気が高いこともあるでしょう」と言います。

表Iは「生徒に人気がある大学」です。トップは2年連続で明治大、次いで早稲田大、立教大、青山学院大、慶應義塾大の順で、ここまでは昨年と全く同じ顔ぶれです。6位に国立大トップの東北大、7位に昨年の19位からアップした上智大が入りました。首都圏の私立総合大が上位を占めます。やはり入試で5教科7科目の国立大は敷居が高く、3教科の私立大なら手が届きそうな感じが人気の理由でしょう。また、どのランキングにも必ず出てくる理工系大学ですが、この項目だけに入っていない。生徒の人気は総合大学ということのようです。

表J-1は「偏差値や地理的、親の資力などの制約がない場合、生徒に勤めたい大学」の国公立大編です。トップは7年連続で東大、次いで京大、3位が東北大でした。トップ10には旧7帝大7校と東京工業大、一橋大、公立の国際教養大が入っています。難易度の高い大学が上位にきていることが分かります。地域別では、関東・甲信越ではトップは東

まずは今年、激減した共通テストの志願者は来年どうなるかです。「今年と変わらない」が最も多くて57.5%、次いで「今年より増える」20%で、今年以上の回答が8割近くになりました。大手予備校の入試担当者はこう解説します。

「11月の学校推薦型選抜の志願者がどのくらいになるのか、来年の一般選抜の志願者数が増えるか、減るか決まっています。これもコロナの感染状況により、感染者が増加するようだと年内入試の人数がさらにアップし、逆に感染が収束に向かいつつあると、志願者はそれほどではないと見えています」

さらに、**グラフ2**では、入試の傾向について聞いています。「学校推薦型選抜や総合型選抜が人気になる」が52.5%でした。年内入試の人数が高くなりそうです。次いで「現役での進学志向がさらに強くなる」48.3%、「安全志向がさらに強まる」48%、「地元志向が強まる」が38.9%でした。私立大に限った入試方式では、トップは「指定校推薦」40%、次が「総合型選抜」「共通テスト利用入試」「公募制推薦」の順でした。年内入試の人数が高いのが特徴です。昨年もコロナの感染拡大で、年明けの一般選抜が実施できるの不安があったり、年内入試が人気です。来年入試も同じになりそうです。**グラフ3**の「生徒に人気のある大学」では、「自分のしたい勉強ができ

